

日向里 niccori Café

／ 集い、笑い、共に学ぶ地域づくり！ ／



【写真】日向里かふえて活躍中のお母さん方
 振興会長 小松さん（下段右から2番目）
 事務局長 工藤さん（上段左）

にっこり 日向コミュニティ振興会

人が集う場所づくりに取り組むために

酒田市の北東部、烏海山の麓の山間部に位置する日向地区は、平成 21 年に日向小学校が閉校し、住民の間には「このまま地域が廃れてしまうのでは」という危機感が生まれていた。そのような中、地域が元気であるために、12 の自治会からなる「日向コミュニティ振興会」が中心となり、閉校した小学校をコミュニティセンターとして再活用することに。

地域のやりたいことを地域ぐるみで後押ししながら、「いろんな世代がみんなで支え合える日向地区」を目指した様々な活動が進められている。

みんなの声を拾いあげるために

平成 21 年から振興会が中心となって話し合いをしている。「地域づくりとは何か」から始まった活動は、回数を重ねていくうちに、「できることからみんなで解決しよう！」という住民主体の動きが活発になっていった。



話し合いはワークショップ形式で！

これまでの活動の一例



日向ささえあい除雪ボランティア



日向ぼっこスクール



にっこり
日向里かふえ



日向地区秋祭り

共助の体制づくりと

地区内外の交流創出

- ・平成 24 年度から市と連携して実施。
- ・自宅まわりの除雪が困難な高齢者世帯などが対象。

地域の子どもの

地域で育てる

- ・地域の子どものための「休日居場所づくり」として開催。
- ・子どもと高齢者の交流の場にもなっている。

幅広い世代が活躍し

持続していけるしくみ

- ・住民の居場所づくりとして、企業監修のもと旧校舎に開設。
- ・机と椅子は旧校舎のものをアップサイクルして再活用している。

伝統を記憶に

紡ぎ残していく

- ・旧小学校の伝統（文集・歌・集団縄跳び、杵つき餅）を次世代へ繋いでいきたいとの想いで開催。

地域づくりビジョンが完成！（令和3年度策定）

「いろんな世代がみんなで支え合える地域～ニコッ(日向)と広がる地域の輪～」

主体(人)づくり

- ・育ちあう主体と仲間づくり
- ・多様な主体と関わり、地域の価値を再発見



場づくり

- ・日常生活を支える仕組みづくり
- ・コミセンの多機能化



持続条件づくり

- ・地域資源を保全しつつ活用する小さな経済



日向地区親睦大運動会・秋祭り
地域づくりビジョン策定 など

高齢者世帯への配食
防犯・防災 交通安全活動 など

日向里かふえ
産直・手づくり雑貨コーナー設置 など

事務局機能

持続可能な組織・地域づくり



拠点となり
支援

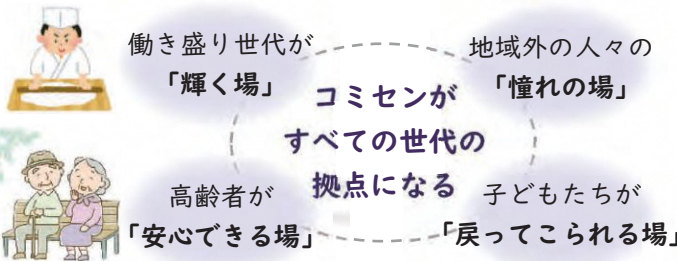
応援
共創

関係する主体

“私にできること＝恩送り”の循環

運営・管理
環境整備・美化活動（除草・清掃、雪囲い、除雪など）
周知広報活動（会報発行、HP・Facebook更新など）

地元大学、企業、行政(国・県・市)
にこここ日向応援隊
鶴岡市三瀬地区(労力交換での交流) など



農業・農村振興に向けた新たな取組み（令和4年度～）

「納得できる納豆汁※をつくれるようになるう」プロジェクト

地域で育てた大豆から納豆・豆腐・みそをつくり、イチから納豆汁をつくってみよう！という試み。
※山形県で古くから親しまれている冬の家庭料理。



にっこりポイント(地域通貨)の導入
生活支援×地域通貨
⇒支え合いのしくみ

“日向からどり”ブランド化
「日向からどり部」を発足
⇒生産・販売に取り組む

移動するコミュニティ

コミュニティセンターまでなかなか来られない住民に
対して振興会から出向いていき、対話や雑談の場を
提供しようという試み。



会長 こまつさちお 小松幸雄さん

これからも今までのように、地域の人たちと関わった人の声を1つにして、形にして残していきたいです。



事務局長 くどうしお 工藤志保さん

地域づくりの共創として地元大学の伴走があり、行政のサポートや企業の応援に支えられて地域力が向上してきました。今後もお力をお借りながら、地域の「やりたい事」に寄り添っていければと思います。

日向コミュニティ振興会

酒田市上黒川字家ノ東 19-2
TEL 0234-64-4913

Facebookで情報発信中！



日向コミセン



日向里かふえ

県では、元気な農村(むら)づくり総合支援事業で「地域づくりワークショップ」を支援しています。詳しくは裏表紙へ！